

介護保険特別会計

当初予算額は6,841,000千円で、前年度当初予算と比べて42,658千円(対前年度比約0.6%)の増額となりました。

前年度と比べて増額となった主な理由

- 第4期事業計画の基盤整備や高齢者人口・要介護認定者数の増加を見込み、保険給付費を増額したため。
- 地域支援事業(介護予防事業、包括的支援事業、任意事業)に要する費用を増額したため。

主な使いみち

保険給付費 …… 6,477,478千円

要支援・要介護者が居宅サービスや施設サービスを利用したときにかかる費用のうち、本人が負担する部分(1割)を除いた費用部分(9割)のことで、雲南広域連合が負担する費用です。

地域支援事業費 …… 195,679千円

地域支援事業を実施するための費用です。

総務管理費 …… 109,897千円

介護システムの維持管理にかかる費用や人件費などの費用です。

徴収費 …… 4,862千円

保険料の賦課徴収や滞納処分を行うための費用です。

介護認定審査会費 …… 48,506千円

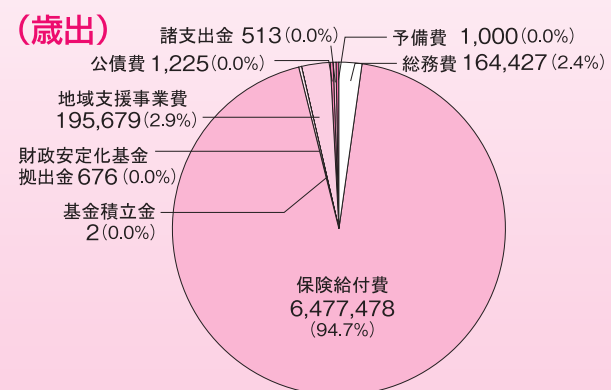
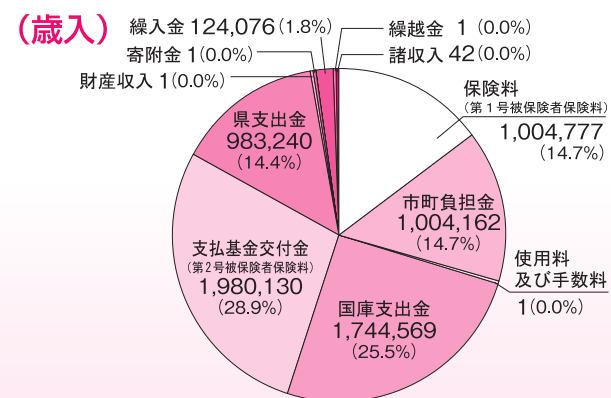
認定調査、主治医意見書作成、認定審査会実施のための費用です。

趣旨普及費 …… 560千円

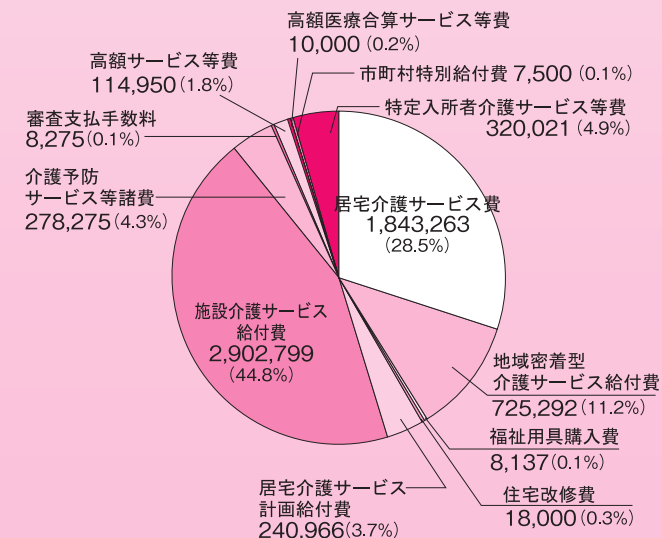
介護保険制度の仕組みやサービスの利用促進などを広報等でお知らせするための費用です。

平成22年度介護保険特別会計予算

(単位:千円)



保険給付費(6,477,478千円)の内訳



平成
22
年度

雲南広域連合当初予算の概要

一般会計

当初予算額は62,068千円で、前年度当初予算と比べて215千円(対前年度比約▲0.3%)の減額となりました。

歳入

主なものとして構成市町負担金が158千円の減額、諸収入が57千円の減額となっています。

歳出

企画費の主な使いみち

地域資源等活用事業 …… 3,035千円

【地元ふるさと応援団】

19年度に養成した「ふるさとガイド」の活用を図っていくためのレベルアップ講座や観光客受け入れ体制の構築を行います。

【在広ふるさと応援団】

広島在住の「雲南ふるさと応援団」へ情報発信やフェア等の応援により雲南地域の魅力を発信していきます。

【地域づくり研修】

地域づくりや地域活動を担う人材を育成するための広域的な研修会等を開催します。

物産発信事業 …… 283千円

【雲南産品の展開】

事業者が主体となり開催する物産展に併せ、雲南地域の伝統芸能や情報を発信するイベントを開催します。

イメージ展開事業 …… 7,089千円

【雲南地域情報発信フェア】

平成20・21年度に引き続き広島市で情報発信に特化したフェアを開催し、雲南地域の認知度向上・誘客促進を図ります。

【各種媒体の活用】

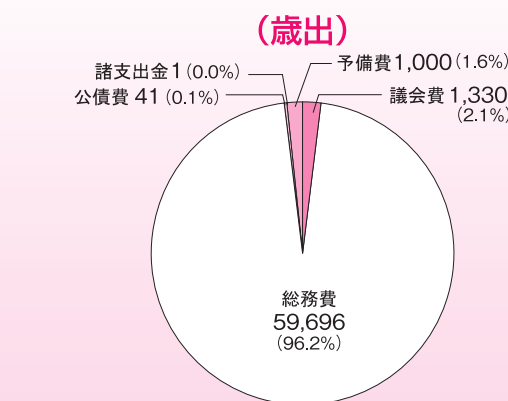
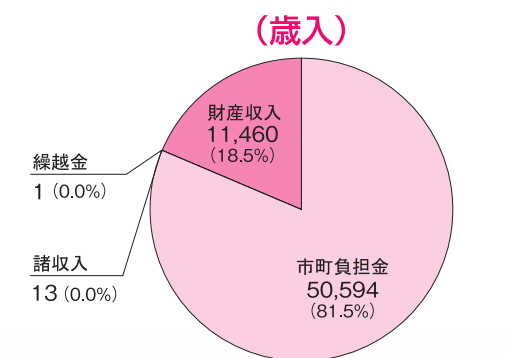
広島市において情報誌やテレビ、バスの背面広告等様々な媒体を活用し雲南地域の情報を発信していきます。また、新たに観光パンフレットを作成し、県内外から更なる観光客誘致に努めます。

【島根ふるさとフェア】

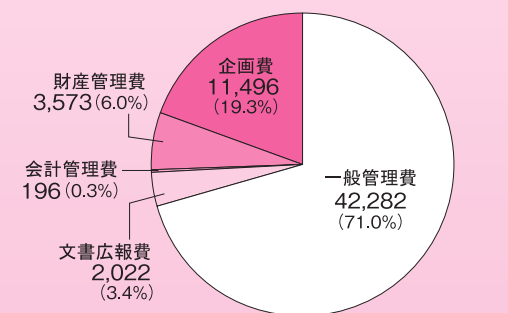
広島市で開催するこのフェアで雲南地域の魅力を発信するブースを設け、雲南地域へのバスツアー参加募集やPRコーナーなど観光情報発信のためのブース運営を行います。

平成22年度一般会計予算

(単位:千円)



※総務費のうち総務管理費(59,569千円)の内訳



雲南地域広域連携計画策定事業 …… 500千円

【雲南地域広域連携計画】

雲南地区ふるさと市町村圏計画(後期計画 H18~ H22)の次期計画「雲南地域広域連携計画」を策定します。

